

食物アレルギー・アナフィラキシー発症時の対応・役割分担モデル

当該児童生徒を絶対に一人にしないこと
第一発見者が児童生徒の異変に気付く

協力要請

周囲にいる児童生徒に
応援要請に行かせる。

携帯電話や内線電話で
応援要請する。

保健室
(養護教諭)
●「緊急対応ファイル」を用意し現場へ

職員室
(副校長または教職員)
●校長に連絡
●教職員に連絡
●「緊急対応ファイル」を用意し現場へ

事務室
(栄養士)
●すぐに状況と給食内容を確認し、「緊急対応ファイル」を用意し現場へ

◇ 当該児童生徒への対応
役割を決め同時に行うこと。

役割分担を指示

※原則・管理職

エピペン注射

119番通報

内服薬の準備

保護者への
連絡

さらに人を集める
(校内放送など)

AED準備と
措置

心臓マッサージ

記録

●その場から動かさない
●頭を高くしない
●足を少し高くする(ショック体位)

.....「緊急対応ファイル」内訳.....

- 1 「食物アレルギー個別取組プラン」
- 2 「緊急時個別対応カード」
- 3 「学校生活管理指導表」(写し)

.....「緊急対応ファイル」保管場所.....

校長室・職員室・保健室・事務室・教室

救急隊に引き継ぐ

●事後対応や措置をする。

●症状・状況・処置等について、時系列で記録し、正確に管理職に報告する。

●調布市教育委員会学務課へ一報を入れる。

TEL042-481-7472

◎ 留意事項

- 1 児童生徒の安全確保、生命維持最優先
- 2 冷静で的確な判断と指示
- 3 適切な対応と迅速で正確な連絡通報

第一発見者が児童生徒の場合は、すぐに周囲にいる大人に知らせる。

(日頃からの指導必須)

- その他の児童生徒への対応
- 救急車の誘導